

ステンレスカンパニー

貢献するSDGs



プレジデント

深津 和也

profile

2020年4月にステンレスカンパニープレジデントに就任。



社会に提供する価値

ステンレス鋼材[形鋼・平鋼・丸棒・鉄筋]を供給するとともに、ステンレス鋼構造物のエンジニアリング機能[設計協力・工場製作・現場施工]を強化し、お客さまの工程省略、コスト削減に寄与します。そして「水素社会」「インフラ再構築」の実現に貢献していきます。

豊富な商品レパートリーのステンレス鋼材



事業分野

- 主力製品: ステンレス鋼材(形鋼・平鋼・丸棒・鉄筋)、チタン展伸材(丸・平・形)、ステンレス鋼構造物エンジニアリング(設計協力・工場製作・現場施工)
- 主な用途: 道路橋・トンネルなどの土木分野やプラント・エネルギー向け建築用部材など

カンパニーの強み

- 国内初の熱間成形ステンレスアングル生産などの技術開発力に基づく多様な用途・ニーズに応じた形状、寸法の商品レパートリー(約2,000品種)
- 「設計協力・工場製作・現場施工」に対応可能なステンレス鋼構造物エンジニアリング技術

事業環境

国内・海外ともに道路・橋梁、河川・ダム、下水道などの老朽化するインフラの更新や、気候変動に伴う自然災害の激甚化対応などで、土木分野におけるステンレス鋼需要の拡大が見込まれています。また、医薬、食品、半導体関連など成長分野での工場建設需要や、エネルギー(水素・LNG・バイオマス)関連分野における建築用部材としても需要の伸びが期待できます。

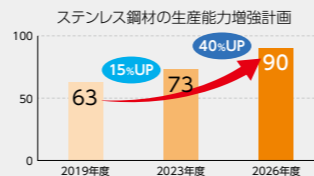
建設後50年以上経過する各インフラの割合(国内)

対象数	2018/3	2023/3	2033/3
道路橋	約73万橋	約25%	約39%
トンネル	約1万本	約20%	約27%
河川管理施設	約1万施設	約32%	約42%
下水道管渠	約47万km	約4%	約8%
港湾岸壁	約5千施設	約17%	約32%

中長期の成長戦略

1. つくりの改善・プロセス改革による能力増強

成長分野における需要の伸びに対応するため、製造設備の能力向上などによる供給能力の増強を進めています。



2. 部材・部品ビジネスの機能拡大

「設計協力・工場製作・現場施工」のポテンシャルを高めるとともに、部品領域への事業拡大に取り組んでいます。

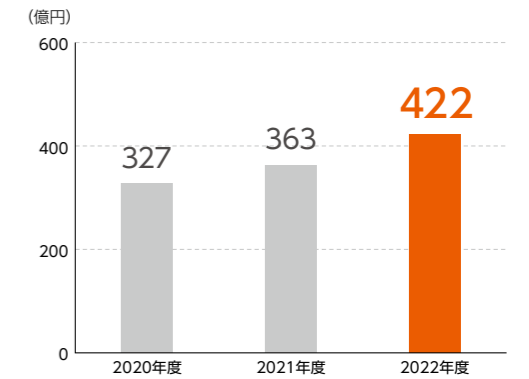
7プロジェクト

Proj.1	商品戦略の再構築	商品レパートリーと製造工程の最適化
Proj.2	アライアンスの組み立て	自閉せず、様々な外部連携の検討
Proj.3	部材・部品ビジネスの拡大	鋼構造物エンジニアリング機能の強化
Proj.4	連結子会社の連携強化	愛鋼(株)、アイチ テクノメタル、フカウミ(株)など協業拡大
Proj.5	つくりの改善・プロセス改革	生産性向上と生産能力増強の両立
Proj.6	新市場創出(キーワード)	水素、鉄筋、水処理、刃物強化
Proj.7	刈谷工場CN実現	持続可能なみせる工場づくり

2022年度の実績

世界のステンレス市場において、特に中国など需要の高い地域における減速が目立ち、在庫調整局面となったこともあり、販売数量は前年比減少となりました。エネルギー価格の高騰、ニッケル・クロムなどの原料費値上がりによる製造コストの上昇も、利益を下押しする要因となりました。そのような環境下において、製造原価の低減努力や販売価格の改善活動などにより、増収増益を果たしました。

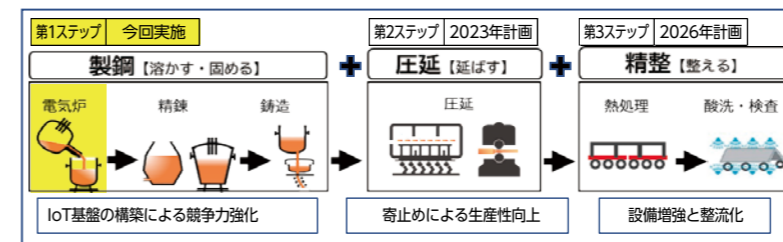
売上収益



成果と今後の取り組み

プロジェクト5 つくりの改善・プロセス改革

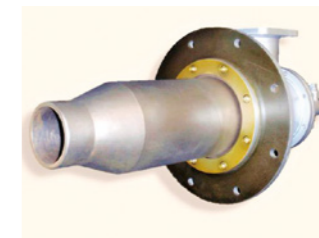
今後見込まれる需要拡大への対応と市場競争力を強化するため、製鋼工程から精整工程まで一貫での製造プロセス改革により生産性向上と生産能力増強の両立に取り組んでいます。2026年の完成に向け、3ステップに分けて進めており、第1ステップでは、ステンレス鋼用電気炉の刷新による粗鋼供給能力の安定化、つくりの可視化・最適化による製造コスト低減に向けたIoT基盤の構築、エネルギー使用効率の向上によるCO₂削減など、能力増強の基盤となる製鋼工程の改善を実施しました。



刷新した50t電気炉

プロジェクト7 刈谷工場CN実現(2023年4月～)

ステンレス鋼材の製造拠点である刈谷工場では、これまでの徹底した省エネ活動に加え、トラッキング付FIT非化石証書の購入やCN(カーボンニュートラル)な都市ガスの導入により、実質的なカーボンニュートラルを実現しました。今後は水素燃料の活用を目指し、東邦ガス株式会社と協力して、鋼材熱処理炉に導入した水素・都市ガス兼用バーナー活用に向けて、水素燃焼技術の開発、実証実験を開始します。



刈谷工場に導入した水素・都市ガス兼用バーナー
画像提供: 東邦ガス株式会社、日本ファーンズ株式会社



バーナーを導入した鋼材熱処理炉

グループ会社トピック

愛鋼株式会社

愛鋼株式会社の主力である衣浦工場において、一般社団法人日本鋼構造協会 建築鉄骨品質管理機構から「ステンレス建築構造物製作工場」の認定を取得しました。ステンレス鋼構造物の製作まで事業領域を拡大し顧客ニーズへの対応力を強化することで、従来の土木・水処理分野向けに加え、医薬品・食品・飲料業界での工場新設による旺盛な需要を取り込み、さらなる成長を目指しています。2024年には一般建設業の「鋼構造物工事業」許可を取得し、現場施工も可能とすることで、ステンレス部材・部品ビジネスにおける工場製作機能の拠点化に取り組めます。

